

# しん じゅ 新 樹

前橋市男女共同参画情報誌

回 覧

13 号

2005年3月

「新樹」=水と緑のまちをイメージし、男女平等の葉が青々と茂るようという願いを込めました。

- ・ **小学生に聞く 家庭科Q & A** .....P2
- ・ 平成16年度 前橋市男女共同参画セミナー  
「共に感動を！輝く明日へのメッセージ」  
開催報告 .....P5
- ・ おじさまインタビュー  
〈ひと〉 .....P6  
保育士 角田法人さん  
農村生活アドバイザー 横山智子さん
- ・ 〈グループ〉 .....P7  
工房メダカの学校
- ・ 男女共同参画室だより .....P8  
配偶者暴力防止法が改正されました  
平成17年度男女共同参画室の事業予定  
相談室からのお知らせ  
編集後記



中央公民館での料理教室

## \* 男女共同参画

「参加」は仲間になることで、「参画」は方針決定の場に加わることです。

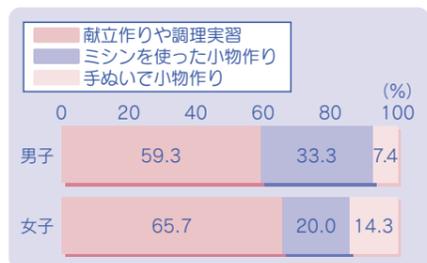
女性と男性が、社会の対等なパートナーとして、社会のあらゆる分野に共に参画し、喜びも責任も分かち合う社会を目指しましょう。

# 小学生に聞く 家庭科

## Q 今まで習った家庭科の授業の中で一番楽しかったものは？（選択肢から一つだけ回答）

### DATA 1位は男女とも「献立作りや調理実習」

他にも「整理整頓の工夫」「気持ちよい住まい方」「衣服の整理や洗濯」「物の選び方や買い方」がありました。いずれも0人でした。



### ○どうして「献立作りや調理実習」が一番の人が多と思う？

- ◆◆友達と作るのが楽しい。
- ◆◆外国のデザートを作って味は失敗だったけど楽しかった。
- ◆◆班別の焼きそば作りで材料を切ったりしたのも楽しかった。
- ◆◆全員 調理実習はみんなでするから楽しい。

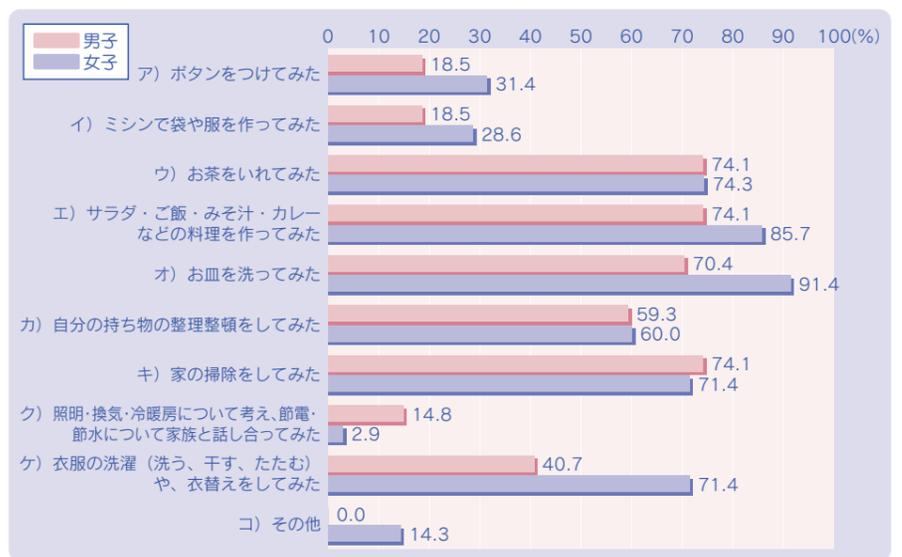


みんなで協力し合って

## Q 家庭科で習ったことがきっかけで、家でやってみたものはどれですか？（選択肢から複数回答可）

### DATA “習ったけど何もしなかった”子はゼロ

全児童が習ったことを何か家でやってみたようです。まずやってみる、という意味では女子のほうが積極的で、ほとんどの項目で男子を上回っています。「お茶をいれてみた」「持ち物の整理整頓をしてみた」「家の掃除をしてみた」ではほとんど男女差はありませんでした。また、項目は調査時点では未習でした。



### ○実際にやってみた感想や失敗談、家の人の反応はどうだった？

- ◆◆手つきが危いと母が心配していたけれど、料理は上手にできた。
- ◆◆料理に2時間もかかった。お腹がすくとどんなものでもおいしくなるね、と言われたけど喜ばれた。
- ◆◆食後にお皿を洗って見たら褒められた。
- ◆◆妹と雑巾がけをしたら床がびしょびしょになって、からぶきもしなくてはならなかったけど褒めてもらった。
- ◆◆お茶をいれたとき、こぼしたり手をやけどしたりしたけど、家族がドンマイと励ましてくれた。今でもいれています。

現在、教育の現場では小学校、中学校とも男女共習で家庭科の授業を行っており、子どもたちにとっては「男女ともに厨房に入り」、家事を行うのが当然のことになっています。

では、実際子どもたちは家庭科の授業についてどのような意識を持ち、家庭で実践しているのでしょうか。

平成14年度から16年度まで前橋市の教科別研究校（家庭科）として取り組んでいる、市立元総社北小学校の6年生児童（男子27名、女子35名、計62名）にアンケートをお願いし、その分析結果から見えてきたことを代表児童男女6名に話し合っていました。

（発言は◆男子、◆女子）

## Q 家の人から言われて自分が担当になっているお手伝いはありますか？（自由回答）

### ○どんなことが「お手伝い」だと思う？

- ◆◆親が病気で寝込んだりしているときに、役に立つようにするもの。
- ◆◆親が疲れているときに、家族で協力して自分が力になれるようにする仕事。
- ◆◆親が疲れていそうなときに、自分が進んでやっておいて親が喜ぶようにするもの。
- ◆◆親が兄弟の習い事の送迎で忙しいときに、替わって自分がするもの。
- ◆◆親に言われる前にする家の掃除というイメージ。

### ○家の人に言われてからやるのはどんな気持ち？

- ◆◆全員 言われてからはイヤ！
- ◆◆イヤになってコタツから出たくなくなる。
- ◆◆宿題をやっているときはできない。

### ○家の人に感謝の言葉をかけられるとどんな気持ち？

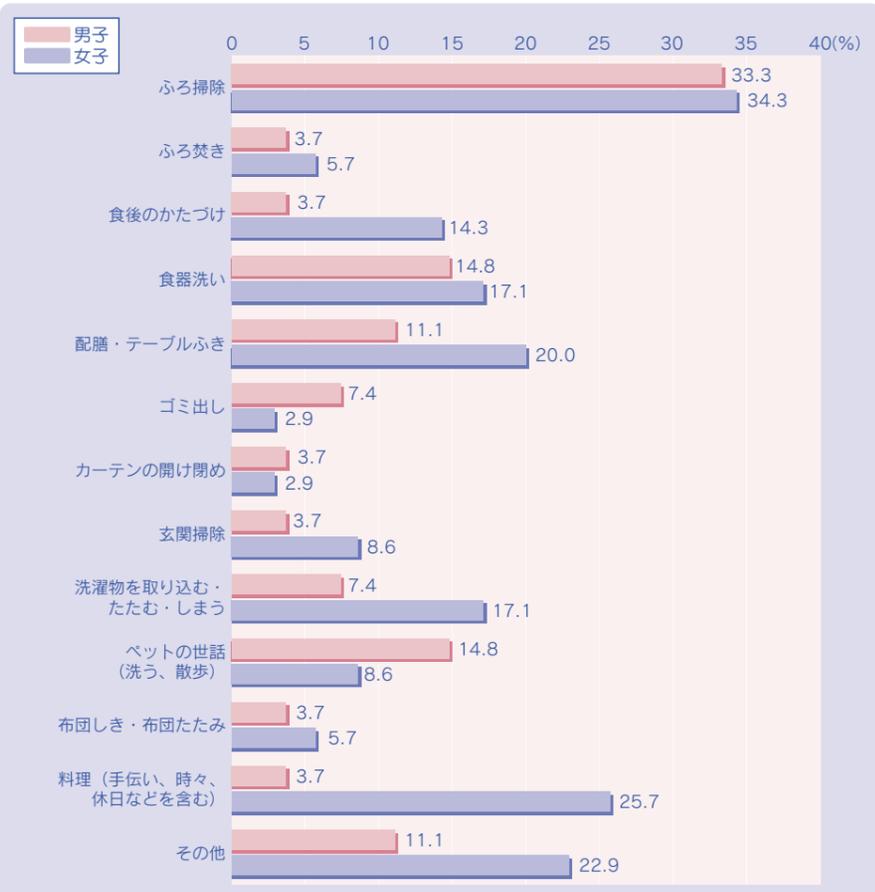
- ◆◆気分がよくなる。
- ◆◆でも、ときどき「手伝いするのが当たり前」と言われることもある。

### ○どうして男子と女子ではお手伝いの数に差があると思う？

- ◆◆女の子は将来的にすることだから、お母さんとしてはさせたいのだと思う。
- ◆◆女の子と母親は意見が合うから。お嫁に行くからというのものもある。
- ◆◆家の人は何も言わないけれど、男でも一人になったら掃除などができないと困ると思う。

### DATA ダントツ1位は男女とも「ふろ掃除」

「ふろ掃除」は男女とも約3人に1人が担当になっています。男子の2位は「食器洗い」「ペットの世話」が同率。女子の2位は「料理」（休日、長期休みを含む）で4人に1人がしています。項目数の合計では、女子が男子のほぼ2倍のお手伝いをしているという結果が出ました。



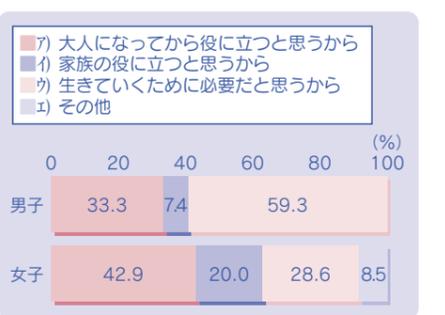
### ○家の人からお手伝いについて男の子だから、女の子だからと言われたことはある？

- ◆◆全員 それはない。
- ◆◆年上の兄弟が受験勉強や部活で忙しいから、ペットの世話を代わりにするように言われるときは、戸惑ってしまう。

## Q 何のために家庭科を学んでいると思いますか？（選択肢から一つだけ回答）

### DATA 男子と女子では意識の差がクッキリ

男子の1位は「生きていくために必要だと思うから」で約5人に3人が、女子の1位は「大人になってから役に立つと思うから」で約5人に2人が答えています。1位と2位は男女でははっきり逆転しています。



### ○どの答えにしましたか？ その理由は？

- ◆◆ア) 一人暮らしをしたときに、習ったことを思い出すかもしれないから。
- ◆◆ア) 独立してから、女の人は家事ごとが一人前にこなせて当然だから。そうでないと生活に不便。
- ◆◆ア) 他の教科は、何の役に立つかわからないときもあるけど、家庭科は家で役に立つと思う。
- ◆◆イ) 家族の役に立ちたい。
- ◆◆イ) 父母の老後の役に立ちたい。
- ◆◆ウ) 将来のことを考えると。



難しいよ～

○「大人になってから」の「大人」って何歳くらい？

- ◆一人でもなんでもできるようになったとき。
- ◆23歳の大学卒業くらい。大学などが家から離れていてもその間は別。
- ◆18歳くらい。その頃になると家族と時間がずれてくるから、家族に迷惑をかけないように、成人する前には生活に必要な知識を持っていたい。

○「生きていくため」ってどういうこと？

- ◆食べていくため。少ない食材でも作れる料理が多いといい。
- ◆家事全般。
- ◆料理、洗濯、さらに節約をしていくといい。



おいしくできたかな？

Q 将来、何になりたいと思っていますか？（自由回答）

DATA 夢いっぱいの子がいる一方、現実を見据える子も  
一人で複数の職業を書いた子もいました。男女に共通して挙がった職業もあります。女子のほうがいろいろな職業を思い描いているようです。（人数の多い順。○は男女共通のもの）

男子の意見

- ・サラリーマン(8)
- ・プロ野球選手(5)
- ・ゲームデザイナー(2)
- ・サッカー選手(2)
- ・スポーツ選手(2)
- 医者(1)
- 警察官(1)
- 科学者(1)
- ・昆虫学者(1)
- ・社長(1)
- ・トリマー(1)
- ・プロ将棋士(1)
- ・GTレーサー(1)
- ・なし(2)

女子の意見

- ・保育士・幼稚園の先生(8)
- ・声優(2)
- ・漫画家(アシスタント含む)(2)
- ・ショップを開く(2)
- 医者(1)
- 警察官(1)
- 科学者(1)
- ・美容師(1)
- ・ファッションデザイナー(1)
- ・イラストレーター(1)
- ・看護師(1)
- ・人の命を守る仕事(1)
- ・介護士(1)
- ・小学校の先生(1)
- ・お笑い芸人(1)
- ・外国関係の仕事・旅・冒険家(1)
- ・家族のためのいろいろな仕事(1)
- ・作家(1)
- ・小動物系の仕事(1)
- ・アナウンサー(1)
- ・パティシエ(1)
- ・ハンバーガーの仕事(1)
- ・ピアノの先生・ピアニスト(1)
- ・特定の職業につこうと思わない・楽しければいい(1)
- ・未定、なし(5)

○この結果を見て何か感じた？

- ◆男子にも女子にも共通している職業がある。
- ◆（女子のほうが職業の数が多いのを見て）友達みんながいろいろなことを考えているんだなあと思った。

- ◆男女とも憧れの仕事が多い気がする。身近な人の様子を見て、職業を決めるきっかけになることもあると思う。私は福祉関係の仕事がしたい。

Q 話し合いに参加してみてどうでしたか？

- ◆楽しくいろいろなことが分かった。
- ◆話し合ってみて広い目線で見て家庭科は大事なんだと思った。
- ◆いい勉強になりました。

感想

子供達は初め緊張していたようでしたが、質問を投げかけると、きちんと自分なりの考えを言ってくれました。手伝いについて質問すると、私たちが考えていたよりも子供達は当たり前の様で家の中で仕事をしている答えが返ってきました。家族の為にしている、というのがとても印象的でした。時間はあっという間に過ぎ、もっと子供達と話をしたかったなと思いました。子供達からも、楽しかったと言ってもらえて、とても嬉しかったです。元総社北小学校のみなさん、ありがとうございました。



世界でたった一つの作品です

平成16年度 前橋市男女共同参画セミナー

「共に感動を！ 輝く明日へのメッセージ」開催

平成16年10月31日(日)、前橋市総合福祉会館において、男女共同参画セミナーを開催しました。その模様をご報告します。

講演「人と向き合い、感動を共有して」

ビー・エム・ダブリュー東京株式会社 代表取締役社長 林 文子さん

林さんは、都立高校を卒業後、大手繊維会社へ就職。当時は、男性と女性の仕事にはっきりと線が引かれていたため、お茶くみ、コピー、事務補助の日々を送ります。

その後、責任ある仕事に就きたいと、当時、女性では珍しかった自動車セールスにその道を見い出しました。飛び込み訪問を通じて、見ず知らずの自分を、わずかの時間でも玄関先で受け入れてくれるお客さんの対応に感動。

車を売ることより人との縁を大切に、お客様の喜んでくれることを全力でしたい、と訪問販売に取り組んだ結果、紹介の輪ができ、車が売れてきて、輝かしい販売実績を残すようになりました。

BMW東京に転職した後もトップセールスを続け、「おもてなしセールス」が評価され、初の女性支店長に抜擢されます。

ショールームをおもてなしの場として演出を凝らすなどして、業績低迷していた支店を、5年の間に二つも最優秀支店に導きます。

職場はなまもの、生きた人間が心を通わせ魂を寄せ合い、今日一日のビジネスが成立し、進んでゆく。上司自らが心を開き、部下に対してコミュニケーションをとる努力をすることが最も大切。ハウ・レン・ソウ\*は上司から、という言葉が大変印象に残りました。



林さんはコミュニケーションの大切さを熱く語って下さいました

※ハウ・レン・ソウ  
仕事を円滑に進める上で必要な「報告」「連絡」「相談」のことで、職場の心得としてこのように言われることがあります。

参加者の声

アトラクション リコーダーミニコンサート

アマチュアリコーダー演奏団体 前橋リコーダーコンソートの皆さん



えっ？これもリコーダー？  
初めて見る大きさにびっくり

講演の前に、リコーダーの演奏会がありました。なじみ深いリコーダーにこんなに種類があったとは…。

「コンドルは飛んでゆく」「トランペット吹きの休日」など5曲を演奏していただいたほか、「ふるさと」を会場の参加者全員で合唱しました。

リコーダーって、とても表情豊かで、奥の深い楽器だったのですね。

- 今までのセミナーに出て今日ほど自分の心の中に感動を頂いたものはありませんでした。
- 人を褒めて育てる、子育てと同じだと思い、人の良いところを見つけて褒めてやりたいと改めて感じました。良かったです。
- リコーダーの演奏、素敵な音色で心が洗われた。
- 人生を楽しむための基本を教えられたような気がします。子育てにも役立たいです。

前橋市男女共同参画セミナーは、隔年の開催で、次回は平成18年度の予定です。企画から立案・運営に至るまで、公募の市民の実行委員と、前橋市が協働でおこなっています。  
興味のある方、まずは、平成17年度開催の「男女共同参画基礎講座」に参加してみませんか。



## つのだくにと 角田法人さん

(保育士：朝倉保育園)

### もともと子ども好き

角田さんが保育の道を志したのは高校時代。学校の先生を目指し理系クラスに在籍していましたが、保育の専門学校に通う兄から色々な情報を得るうちに、もともと子ども好きな自分の中で進路の幅が広がり、もっと小さい子ども達と関わる保育の仕事が選択肢に加わったと言います。

男性保育士はまだ少数派でもあり、最初は「特殊な世界に入ってしまったかな？」という気持ちもあったそうですが、「子ども達が大切な成長期を過ごす場ですから、先輩の指導や助言を

どんどん吸収してスキルを磨き、“家庭と一緒に進めていく保育”のプロフェッショナルを目指したい。それには園児や保護者との信頼関係を築くことが大切」という言葉からは、この仕事への真摯な思いが伝わってきます。活発に動き回る園児を自分の体でしっかり受け止める、各保護者の育児方針を短い会話からも察知しその子に合わせて接する、などを心がけてきて、早くも5年。

「苦労しながらも上手く製作ができた時の子どもの笑顔に接する時、喜びや悲しみなど心が通い合ったと感じる時など、この仕事を選んで良かったという充実感があります。子ども好きだけでは動まらないこともわかりましたけれどね。」と笑っておられました。

### 後に続く人達の為にも

働くうちに県内には百数名の男性保育士がいることもわかり、「同じ悩み

を語り合い、知識やスキルを向上させる場を作ろう」という先輩の発案により、平成14年「群馬男性保育者連合会」が発足しました。その連合会が昨年秋に開催したセミナーに、専門学校生も含め、会の趣旨に賛同する保育士が県内外から多数参加したのを見て、「自分達の仕事ぶりが広く認知され、後に続く人達の道が開けるように少しでも役立ちたい」との思いを強くされたとのこと。

気さくで明るくさわやかな角田さん、「社会や家庭に男女がいるように、保育の場にも男性と女性がいていいと思います」と言います。「一年経つうちに他人とは思えなくなる」という園児達から、そして保護者からも頼りにされ、期待されている様子がうかがわれました。

## 工房 メダカの学校

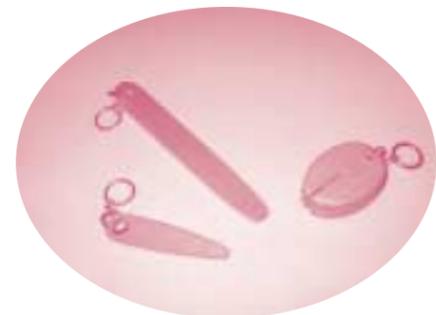
### 技術とぬくもり

現在男性6名、女性2名で構成されている「工房メダカの学校」は、ボランティアセンター主催のもの作り講座がきっかけとなって始まりました。グループ名は、童謡の一節「だれが生徒か先生か」をイメージしているそうで、会員は職種も様々で現役組・退職組と色々です。技術系ボランティアグループとして、個人のお宅で建具の修繕や庭木の伐採、市のイベント等への参加、また学校・公民館でおもちゃ作りの指導や、他市からの依頼で講習会の開催と幅広く活動しています。ボランティアセンターからの依頼で、シニアの模



ふれあい生活フェスティバルでの活動

に触れる事が、自分たちの励みになり、生きがいにもなっていると言います。費用の工面や活動場所の確保に苦労しながら、ここまで活動を続けられたのは、ものを作り、体を使ってボランテ



「アケテ」(右)とブルトツプ開け  
大変丁寧な作りです



## おじゃまインタビュー

男女共同参画を 積極的に実践している  
ひとやグループを 紹介します。



福利厚生などについて独自の取り決めをするものです。「家族みんなが幸せになるために話し合いをしたことは、大変意義深かったと思います」と当時を振り返ります。

この協定により、経理と野菜の担当になり、責任を持って野菜を生産・販売する意識が生まれたそうです。「農業の分野で参画していくためには、まだ女性は力不足なのかもしれません。私自身も日々勉強です」。

横山さんは、農村生活アドバイザーのほかにも農業の普及活動に数多く参加されています。現在は多くの農村女性がこうした活動をしているそうです。しかし、合併前の前橋市では、地域の農業をかじ取りする農業委員35人のうち、女性は学識経験者一人だけでした。就任に至るまでの体系や条件が複雑なこともありますが、「体が資

本の職業でもあり、家を空けて会議等に出席するには家族の理解が必要になります。農業を動かす場に女性が参画できるよう、男性も意識改革を」と呼びかけます。

### これからの農業について

横山さんは、手間のかかる有機農法で野菜を作っています。最近、消費者側の意識が変わりつつあるので、「有機野菜は安全で、安心して食卓に提供できるものであることを理解していただけたら」とおっしゃいます。

「これからも環境に配慮し、食のあたる風景を大事にしながら、地域と共に生きていく農家の形を目指します。また、後継者を増やすためには農家のあり方を変えていかなければなりません」と語って下さいました。

擬体験装具を製作したこともあるそうです。

取材時は、てこの原理を利用したブルトツプ開けと袋切り安全カッター「アケテ」の二つを見せていただきました。作りは簡単そうですが、加齢により日常生活で不便を感じている方には、大変喜ばれるそうです。製作に使用する材料は、木材・鉄材など本格的なものから、竹・どんぐり・じゅず玉・ぎんなん・しのなど、自然の素材を工夫して用いることも多く、確かな技術とともに優しいぬくもりが感じられます。

### 人とのつながりを大切に

会員はそれぞれの特技を生かして個人で活動することもあります。ボランティアを通して人の笑顔やお礼の言葉

ィアをすること自体が楽しいから、と言う会員もいます。製作活動だけでなく旅行や多くの情報交換もしており、野外に材料集めに出かけることもあるとか。

「遊びの中から相手を知り、気持を汲むことができる。私たちは常に人と人とのつながりを大切にしていきたいのです」様々な思いから積極的に社会参加している皆さんに感銘を受けました。

今後はますます多様な生き方を選ぶ人が増えることでしょう。男性は家事ができない、女性はちょっとした修繕や庭の手入れができない、では困る事も出てきます。人数がまとまれば講習会の依頼も可能とのこと。「私たちの持っている技術を、より多くの人に知っていただきたい。お困りのことがあったら問い合わせしてみてください、お役に立てるかもしれません」と代表の片貝さんはおっしゃっていました。

### ■活動についての問い合わせ

前橋市社会福祉協議会ボランティアセンター  
(前橋市日吉町二丁目17-10総合福祉会館3F)  
Tel 232-3848 シニア体験装具の貸し出し希望はこちらへ。

### ■入会の申し込み

代表 片貝進さん Tel 261-5852  
また、ブルトツプ開けや「アケテ」は希望の方にお分けします。

# 男女共同参画室だより

## 配偶者からの暴力で悩んでいる方へ

配偶者暴力防止法が改正されました。

保護命令の対象を、子どもや離婚した元配偶者まで拡大するとともに、退去命令の期間を二か月に延長することなどを柱とした改正法が成立し、平成16年12月2日に施行されました。

### ○ 改正の主な内容

- 一 「配偶者からの暴力」の定義の拡大
- 二 保護命令制度の拡充
  - ①離婚後も暴力が続く場合、元配偶者も対象とする。
  - ②被害者と同居する未成年の子どもも接近禁止命令の対象とする。
  - ③退去命令の期間を2か月に拡大。
  - ④退去命令についても再度の申立てを可能とする。
- 三 市町村による配偶者暴力相談支援センターの業務の実施が可能
- 四 基本方針及び基本計画の策定
- 五 被害者の自立支援の明確化等
- 六 警察本部長等の援助
- 七 苦情の適切かつ迅速な処理
- 八 国籍、障害の有無等を問わない人権の尊重

詳しくは、生活課男女共同参画室（TEL 027-890-6520）まで。

内閣府では配偶者からの暴力被害者支援情報サイト

（<http://www.gender.go.jp/e-vaw/index.htm>）を開設しています。

## 平成17年度男女共同参画室の事業予定

6月 男女共同参画週間  
（6月23日～29日）  
週間に伴い市役所1Fロビーで展示を行う予定。

7月 前橋市男女共同参画審議会委員委嘱公募枠あり。詳しくは広報・ホームページにて。

7月 子どもたちが男女共同参画について考えるイベント 開催  
これって男の仕事？女の仕事？について楽しく学べるイベントを企画中。詳しくは広報・ホームページにて。

### 他

- ・男女共同参画情報誌「新樹」発行 9月、3月
- ・男女共同参画基礎講座 10月予定
- ・推進事業実施状況報告 時期未定
- ・男女共同参画出前講座 随時
- ・男女共同参画相談 随時

## 相談室からのお知らせ



配偶者などからの暴力、セクハラ、職場や家庭生活において悩みをお持ちの方、一人で悩まないでお気軽にご相談下さい。

相談時間 月～金 8:30～17:15

場所 前橋市本町一丁目5-2  
職員研修会館2階  
男女共同参画相談室

電話 027-890-6520  
(直通)

## 編集後記

- ♪趣旨に沿った情報収集、伝えたいことを簡潔に書くことの難しさを感じつつも、楽しく編集することができました。（梅山）
- ♪今回は小学生のインタビューに挑戦してみました。みんなしっかりしていて、良い経験をさせてもらいました。（山岸）
- ♪新樹13号を発行することができました。ご協力いただいた皆さんありがとうございました。（木村）
- ♪「後続く人達のためにも。」と頑張っている男性保育士の角田さん、私達も新樹を通じて応援していますよ！（早間）
- ♪元総社北小の生徒たちにインタビューをしました。それぞれ、しっかりした考えを持っているのには感心致しました。（近藤）

13号のご意見・ご感想は男女共同参画室まで。

発行日■平成17年3月15日 発行■前橋市 生活課 男女共同参画室 〒371-0023 前橋市本町一丁目5-2 職員研修会館2F  
直通電話■890-6517 FAX■221-6200 メールアドレス■[sankaku@city.maebashi.gunma.jp](mailto:sankaku@city.maebashi.gunma.jp)

編集■「新樹」編集委員

「新樹」は前橋市のホームページからでもご覧いただけます。気軽にアクセスしてみてください。